

分野	専門分野Ⅱ —母性看護学—	対象学年	2
		時期	後期
授業科目	母性看護実践論Ⅲ Maternity Nursing PracticeⅢ	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	産褥期にある人々とその家族への看護について基礎的知識と技術を学び、必要な看護技術を習得する。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 産褥期の生理的变化と正常からの逸脱を理解し、必要な看護について理解する。</li> <li>2. 母性を心理社会的側面からとらえ、産褥期の心理的变化を理解する。</li> <li>3. 母子一体性を理解し、一個の人格をもつ人間として新生児看護の必要性を理解する。</li> <li>4. 新生児の生理的变化と正常からの逸脱を理解し、必要な看護について理解する。</li> </ol>		
評価方法	終講試験95点 課題5点 出席状況や授業態度も含めて総合的に判断する。		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学【1】 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学【2】 母性看護学各論 医学書院 看護実践のための根拠がわかる 母性看護技術 メチカルフレンド社		
参考図書	ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程第2版 医歯薬出版 UNICEF/WHO 赤ちゃんとお母さんに優しい母乳育児支援ガイド ベーシックコース 医学書院		
メッセージ	妊娠・分娩・産褥は一連の経過として関連させて既習の知識を活用して学習しましょう。産褥期は母と子の相互作用がとて重要になります。褥婦と新生児双方の特徴を学んでいきます。 新生児については胎内生活から胎外生活への変化を捉えることが、大切なポイントです。あまりに劇的な変化で学ぶことが沢山ありますが、小児看護や母性看護学実習にも繋がる部分ですので、頑張りましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	産褥期の身体的変化（退行性変化）	産褥期の特徴と身体的変化を理解する	産褥期の定義 進行性変化と退行性変化 (1) 全身状態の変化 (2) 生殖器の変化	講義	
2	産褥期の身体的変化（進行性変化）	産褥期の乳房の変化と乳汁分泌のメカニズム、乳汁の特徴を理解する	産褥期の乳房の変化 (1) 乳汁分泌のメカニズムと乳汁の特徴 (2) 乳房の観察とケア	講義	
3	産褥期の心理的特徴と看護	母性意識の発展過程と産褥期の心理変化を理解する	母性意識の発展過程と産褥期の心理変化 (1) 母親役割獲得のプロセス (2) マタニティブルーズ	講義	
4	褥婦のセルフケアへの看護	褥婦の身体機能回復及びセルフケアへの看護を理解する	身体機能回復に向けた看護 セルフケアを高める看護	講義	
5	産褥期の異常と看護	産褥期の異常と看護を理解する	産褥期の異常と看護	講義	
6	新生児の身体的特徴と看護①	新生児の定義と出生直後の新生児の生理的特徴を理解する	新生児の定義 新生児の出生直後の生理的特徴の理解 (1) 子宮外適応現象	講義	

7	新生児の身体的特徴と看護②	新生児の身体的特徴について理解する	出生直後の看護 新生児の身体所見と観察方法 (1) バイタルサイン測定 (2) 身体所見と観察方法	講義	
8	新生児の身体的特徴と看護③	新生児の生理的経過（順調に成長・発育しているサイン）について理解する	新生児の栄養 (1) 新生児の消化・排泄 (2) 新生児の体重の変化 新生児に行われる検査と退院支援	講義	
9	新生児期の異常と看護	新生児期の異常とその看護について理解する	新生児期の異常 異常の早期発見のために行なわれている検査	講義	
10	育児支援と保健相談	育児支援と保健相談について理解する	育児支援と保健相談 退院後の母子の生活とその支援	講義	
11	母乳育児支援	母乳育児支援について理解する	母乳育児支援の実際 (1) ポジショニング・ラッチオン (2) コミュニケーション・スキル	講義 演習	
12	新生児沐浴演習	新生児の沐浴を実践し、理解する	新生児の抱き方 沐浴の方法	演習	
13	産褥期の看護過程	母性看護過程の展開を行い、ウェルネス看護を理解する	母性看護過程の展開 1) ウェルネス看護 2) 周産期の母子のアセスメント	演習	課題
14	産褥期の看護過程（クリニカルパス）	クリニカルパスを用いた母性看護過程について理解する。	母性看護過程の展開 1) クリニカルパスの展開	演習	課題
15			終講試験		